

地域密着型設計演習プログラム

KYUSHU DESIGN CHARENTE

九州デザインシャレット 2019 in 長崎市 テーマ

「まちへ深く誘う公共空間をデザインする」

近年、にぎわいづくりや居場所づくり、健康増進、地域防災力の向上等、様々な観点から、これまでの概念や制度の枠を超えて、道路、河川、公園、広場等の公共空間を積極的に活用し、心地よい時間と多様な交流を生み出すことで、都市や地域の価値を高める取り組みが増えています。公共空間の計画、設計、施工、運用に携わる専門技術者には、こうした新しい時代の価値観に対応した能力が求められています。本演習では「まちへ深く誘う」をテーマとして、長崎市において実際に検討されている公共空間整備を題材として、デザイン提案を試みる機会を設けました。ぜひ、自らの技術力を高めたいという志を持った学生、社会人の皆様にご参加いただければ幸いです。本演習を通じて出会った仲間はその後の人生において共に切磋琢磨し合える貴重な存在になるでしょう。

シャレット (charrette) は仏語で「荷馬車」という意味です。仏の大学生が設計課題の提出日に荷馬車に図面を積んで学校に来る様子から、短期間に集中的に行う演習を意味するようになったと言われています。

■プログラムの特徴

- ①**合宿形式**：設計演習は長崎市に3泊4日滞在し、参加者のグループワークによって行います。各班には若手講師をチューターとして配置し、グループワークの相談のったり、資料や模型の作り方等の技術的なサポートを行います。
- ②**地域密着型**：本演習の開催は長崎市の協力を得ており、特に演習の最終日には実際に事業を進めている関係者に対するプレゼンテーションを行います。良い提案については、現在進められている設計検討に反映される可能性もありますので、ぜひ頑張って良い提案をつくっていただけたらと思います。
(なお、本企画は純粋な設計演習の場であり、ここでの成果について長崎市には一切の責任はありません)
- ③**実務的な講師陣**：講師は各地のまちづくりプロジェクトに活躍する大学研究者に加えて、長崎市の照明計画を行っている面出氏、市庁舎前の広場設計を行なっている吉村氏、全国のまちなか広場の整備・運営に活躍されている山下氏を迎え、実践的な指導を行うメンバーを揃えております。
- ④**初学者から経験者までを対象**：設計演習は、現地見学、講師によるレクチャー、グループワーク、エスキース、デザインスタディ、プレゼンテーション等から構成され、公共空間のデザインを考える際に必要な「コンセプト～プランニング～デザイン～プレゼン」の基礎を体系的に学ぶことができます。講師やチューターが丁寧に指導しますので、初学者でも心配せずに受講を検討してください。
- ⑤**土木学会との連携**：本演習の成果は12/6-8に日本大学で開催される土木学会景観・デザイン研究発表会においてポスター発表することを想定しています。学会への参加は必須ではありませんが、全国の景観・デザイン関係者と交流する素晴らしい機会となりますので、あわせてご検討ください。

NAGASAKI

2019.8.27-8.30

□開催期間：8月27日(火)～30日(金)

□演習会場：長崎市民会館(長崎市魚の町5番1号)

□対象者：学生と社会人をあわせて30名程度

・3泊4日のプログラム全てに参加できる方

・40歳程度以下の方

・定員を超える場合は参加者を選定させていただくことがあります

□講習費：学生15,000円、社会人36,000円

*講習費には飲食代・宿泊代は含まれません。

当日の宿泊は参加者各自での手配をお願いします。

□募集期間：6月3日(月)～7月1日(月)

□参加申し込み：

- ①氏名、②学生か社会人か、③所属(学生の場合は研究室名と学年)、④性別、⑤年齢、⑥志望動機(150字程度)、⑦模型制作経験の有無、⑧メールアドレス、⑨電話番号をご記入の上、下記の問い合わせ先までお申し込みください。

風景デザイン研究会・事務局(担当・原田) info@fukei-design.jp

*お申し込みの際に頂いた個人情報は本行事のみに使用いたします。

□建設コンサルタンツ協会 CPD：36.0単位

造園 CPD：36.0単位

□主催：風景デザイン研究会 協力：長崎市

□講師

ゲスト講師

面出 薫(照明デザイナー：照明探偵団団長)

吉村 純一(プレイスメディア：ランドスケープアーキテクト)

田中 智之(熊本大学 田中智之研究室：建築家)

山下 裕子(ひと・ネットワーククリエイター：広場ニスト)

女鹿 裕介(プレイスメディア：ランドスケープアーキテクト)

風景デザイン研究会

柴田 久(福岡大学 景観まちづくり研究室)

田中 尚人(熊本大学 地域風土計画研究室)

星野 裕司(熊本大学 景観デザイン研究室)

高尾 忠志(九州大学・長崎市景観専門監)

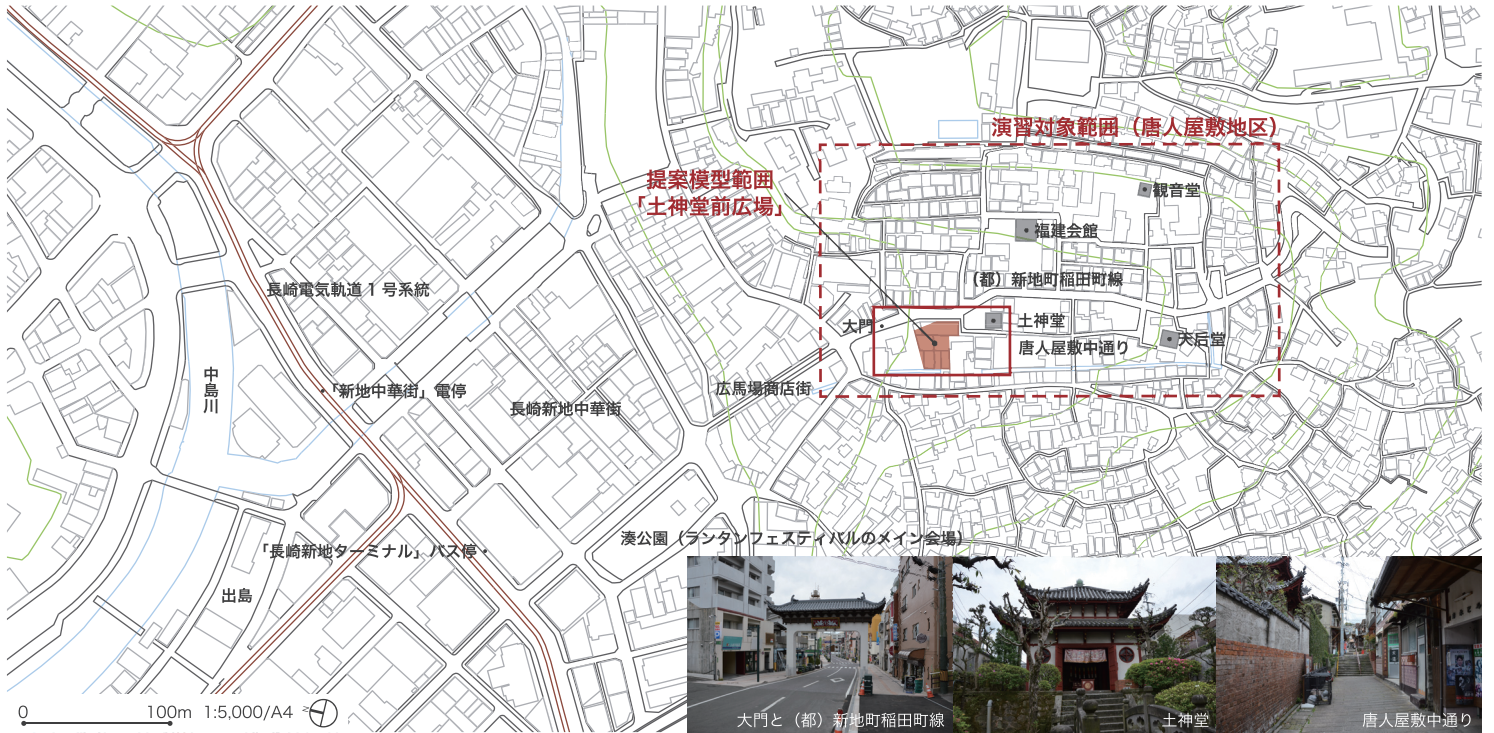
石橋 知也(長崎大学 環境計画研究室)

増山 晃太(風景工房・熊本大学 景観デザイン研究室)

池田 隆太郎(福岡大学 景観まちづくり研究室)

■演習課題 外国人居留地・唐人屋敷跡の「土神堂前広場」

今年の対象地である「唐人屋敷」は、17世紀に江戸幕府によって建設された外国人居留地です。同じく江戸時代に建設された外国人居留地の出島に比べて、知名度は高くありませんが、土神堂、観音堂、天后堂、福建会館、それらをつなぐ路地に往時の面影が感じられます。また、斜面市街地特有の課題も抱えています。長崎市は、地区の中央を走る都市計画道路の整備とあわせて、地区の歴史文化を顕在化させる「唐人屋敷顕在化事業」を平成13年から進めており、地域住民との連携により「誘導門」「大門」「天后堂前広場」「蔵の資料館」等が整備されてきました。さらに、土神堂前広場や夜間景観向上にかかわる整備が予定されています。本設計演習では、こうした背景をうけて多くの観光客が訪れる新地中華街から唐人屋敷跡に人の流れを誘うための「土神堂前広場」のあり方を検討し、模型等を製作して具体的なデザイン計画を提案することを課題とします。



■プログラム

	8/27 (火)	8/28 (水)	8/29 (木)	8/30 (金)
9:00	<p>講評会の様子</p>	講師によるレクチャー③ (星野裕司)	講師によるレクチャー⑤ (吉村純一)	提案模型・プレゼン準備 (グループワーク)
10:00		コンセプトメイキング (グループワーク)	デザインスタディ② 計画図・提案模型検討 (グループワーク)	
11:00				
12:00	会場集合	昼食	昼食	昼食
13:00	ガイダンス 講師によるレクチャー① (山下裕子)	講師によるエスキス①	講師によるレクチャー⑥ (田中智之)	講師および 地域の関係者による 講評会
14:00	現地調査 (長崎市による解説)	講師によるレクチャー④ (柴田久)	デザインスタディ③ 提案模型検討 (グループワーク)	
15:00		デザインスタディ① 対象地計画図検討 (グループワーク)		
16:00				撤収作業
17:00	講師によるレクチャー② (面出薫)		講師によるエスキス③	
18:00	現地調査 「照明探偵団 @ 唐人屋敷」	講師によるエスキス②	デザインスタディ④ 提案模型検討 (グループワーク)	懇親会 (有志のみ)
19:00	懇親会 (21:00 ごろから)			
20:00				